



長野県生物多様性センターが開設されました ～自然と未来をつなぐ新たな拠点～

気候変動や土地利用の変化が進むなか、世界では生物多様性の損失が深刻な課題となっています。2022年には国際的な世界目標「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択され、自然の損失を止め回復へと向かわせる「ネイチャーポジティブ」や、陸域・海域の30%以上を効果的に保全する「30 by 30」が掲げられました。

こうした流れを受け、日本では2025年4月に「地域生物多様性増進法」が施行され、地域における多様な主体の連携と保全活動を後押しする仕組みが新たに整備されました。

長野県は、豊かな自然が育む多様な生態系を未来へ引き継ぐため、この新法に基づき、2025年12月16日に「長野県生物多様性センター」を開設しました。県生物多様性センターは、県庁自然保護課と環境保全研究所飯綱庁舎に設置され、中間支援組織として県内の活動をつなぎ、支え、広げていく役割を担います。このセンターは、企業や団体、市町村など幅広い主体



生物多様性保全パートナーシップ協定延長締結式
(ミヤマ株式会社とミヤマジミ研究会)

の連携と協働を促す拠点として、関係者間の連携や協力のあっせん、有識者の紹介、科学的知見の収集・分析・整理などの基本業務に加え、国が認定する「自然共生サイト」への申請支援、市町村による地域戦略や連携増進活動実施計画の策定支援、企業と保全団体をつなぐ「生物多様性保全パートナーシップ協定」の締結促進などに取り組みます。

また、情報発信として、生物多様性ポータルサイト「信州いきものがたり」を通じて、県内の自然の魅力や保全活動、研究成果を紹介。県民が生物多様性の保全を社会経済活動において考慮し、行動に反映する「生物多様性の主流化」を実践するきっかけづくりにも取り組みます。

長野県の自然は、暮らしや文化、地域経済を支える大切な財産です。県生物多様性センターは、県民・企業・自治体・研究者など多様な主体とともに、ネイチャーポジティブの実現に向けた県全体の取り組みを力強く進めていきます。(更級 裕一郎/自然保護課)



長野県生物多様性センターの開所式
(環境保全研究所飯綱庁舎)

生物多様性ポータルサイト「信州いきものがたり」のご紹介

信州の自然や生きものについて知りたい方に向けて、基礎知識から地域の特色、ホットスポット、直面する危機までをわかりやすくまとめたポータルサイト「信州いきものがたり」。生物多様性を学べるページのほか、生き物クイズをはじめとした子ども向けコンテンツや、県内で開催される関連イベントの情報も掲載しています。信州の生物多様性の理解を深める一助として、ぜひご活用ください。



生物多様性ポータルサイト「信州いきものがたり」
<https://www.shinshu-ikimono.pref.nagano.lg.jp/>